

鄒 馨銳

XINRUI Zou



食夢者

金属、フェルト、糸

食夢者

夢の本質は人間の潜在意識の中にある美しいものへの憧れである。夢の偶然性によって、夢の良い側面も悪い側面もファンタジーの世界から現実の生活に浸透し、人間の情緒に影響を与える。そのため、「場所+感情+素材」の要素を合わせて表現をすることで、鑑賞者が作品を鑑賞しながら共感し、今の生活を振り返ることで、気分を整えることを促したい。

以前の作品の中で、人間は夢を利用して欲望を実現し、感情を発散するということを伝えた。自分の様々な作品の中に、よくウサギの造形を使う。ウサギは活発な性格や慎重で敏感な面は、多面性を表現しており、作品の中に豊かな情緒も伝わってくる。彼も夢の中で「私」を代表し、「私」のイメージとして夢の中を旅したり冒険したりする。

大学院では、夢に関する私の理解を深め、作品として表現した。今回の作品制作で用いる主な材料はフェルトと針金である。フェルトは、高い可塑性を持つ、動物繊維で柔らかい感覚もあるので、それらを用いて「流れている感情」を表現したい。フェルト上に豊かな色彩をつけて、人間の豊かな気持ちを表現する。またフェルトより硬い針金を使う理由は、わたしが針金でウサギの造形を使い続けていて、夢に現れる感情の現実感を強めて、夢の積極的な力も見せたいからである。また、私が「一番印象的な夢」というアンケートを行った。このアンケートから素材を選んで、ウサギの体には、夢中の気持ちやストーリーを描く。作品の中に、それぞれのウサギは様々な夢を食べ、食夢者の世界もだんだん豊かになってる。そして、12匹のウサギが丸いテーブルの上に均等に配置されていて、時の12区分を表す。時計の造形と「流れている感情」を組み合わせ、夢と現実世界の接点のようで、その中に流れる「感情」も現実生活と絶えず溶け合っている。